

**① 北海道第一歩の地碑  
東浜桟橋(旧桟橋)**



明治維新後、北海道の入口となった函館に本州の人々が上陸し、第一歩を記した場所。錨と熊をモチーフにした影刻は、昭和43年(1968)開道100年を記念して建立された。海を背景に鮮やかにモニュメントが浮かび上がる。

**② 函館市文学館(旧第一銀行函館支店)**



旧第一銀行函館支店の建物で、平成5年(1993)4月に文学館として開館、石川啄木や函館ゆかりの作家の残した原稿や作品などを展示。中央を照らす青いライトが印象的。

開館 9:00～19:00 (11～3月は17:00)  
入場料 大人300円 休 不定期

**③ 函館博物館郷土資料館  
(旧金森洋物店)**



明治13年(1880)渡辺熊四郎によって建造されたかつての金森洋物店。昭和38年(1963)道指定有形文化財に指定され、同44年(1969)市立函館博物館郷土資料館として開館。当時の金森洋物店の帳場の再現や、パネルや模型で明治期の商家の様子を伝えている。漆喰の白壁にブルーの装飾がライトアップにより美しさを増している。

開館 9:00～16:30(冬期は16:00)  
入場料 大人100円  
休 毎月曜・毎月最終金曜日

**④ 現株式会社エスイーシー社屋  
(旧第百十三国立銀行)**



旧第百十三国立銀行は明治11年(1878)函館で設立され、北海道に初めて本店を置いた銀行。現在の建物は昭和元年(1926)に旧第百十三銀行として建設された鉄筋コンクリート3階建ての建物で、古典建築と近代建築の様式が組み合わされ、洗練されたデザインとなっている。正面からの白いライトにより、コンクリート建築をさわやかに照らす。

**⑤ 赤レンガ倉庫群**



ベイエリアの象徴的な存在の赤レンガ倉庫群。地元では「金森倉庫」と呼ばれ親しまれている。函館で初めて倉庫業を始めた渡辺四郎が、明治42年(1909)煉瓦造りの倉庫を建てた。現在も倉庫のほか、個性的なショップや飲食店として活用されている。建物だけでなく街路も賑やかにライトアップされており、歩くだけでも楽しい気分にさせてくれる。

**⑥ はこだて明治館(旧函館郵便局)**



明治44年(1911)に煉瓦造りの耐火建築物として完成した旧函館郵便局。現在は、土産品などのショッピングモールとして活用されている。煉瓦造りの建物がシックにライトアップにより美しさを増している。

開館 9:00～16:00(冬期は15:00)

入場料 大人100円  
休 毎月曜・毎月最終金曜日

**⑦ 地域交流まちづくりセンター(旧丸井今井百貨店函館支店)**



大正12年(1923)創建の丸井今井百貨店函館支店の建物を、外観を残しながら建物の保全・改修を施し再生。市民活動の支援や、市民交流の場、地域情報の発信拠点となっている。往時の賑やかさを彷彿させる見事なライトアップ。

開館 9:00～21:00 休 年末年始

**きらめきのライトアップ 古き佳き函館編 ~浪漫函館 光のプロムナード~**

所要時間 70分 距離 1.7km 消費カロリー 210kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。

